



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月2日

上場会社名 株式会社一六堂  
コード番号 3366 URL <http://www.ichirokudo.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柚原 洋一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 大木 貞宏  
四半期報告書提出予定日 平成24年10月11日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

TEL 03-3510-6116  
平成24年11月5日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	4,996	9.0	394	62.1	575	88.7	280	456.8
24年2月期第2四半期	4,583	8.8	243	119.4	305	69.3	50	11.9

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 227百万円 (436.5%) 24年2月期第2四半期 42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	32.78	29.52
24年2月期第2四半期	5.90	5.34

(注) 当社は、平成23年11月18日付で、普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	6,672	4,567	68.5
24年2月期	6,934	4,416	63.7

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 4,567百万円 24年2月期 4,416百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	525.00	—	9.00	534.00
25年2月期	—	8.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・平成24年2月期期末配当の内訳は、普通配当 6円00銭、記念配当 3円00銭であります。  
・当社は、平成23年11月18日付で、普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,523	6.7	907	19.4	1,053	19.3	473	53.1	55.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	8,684,400 株	24年2月期	8,684,400 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	133,700 株	24年2月期	133,700 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	8,550,700 株	24年2月期2Q	8,530,700 株

(注)当社は、平成23年11月18日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、24年2月期2Qの期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は、平成24年10月1日付で終了しておりますが、この四半期決算短信においては、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年11月18日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割行われたと仮定し、平成24年2月期第2四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から復興関連需要の高まりとともに緩やかな景気の回復が見られたものの、増税、雇用減退、社会保障問題などにより、景気の先行きについては依然として不透明な状態が続いております。

当外食業界におきましては、デフレの影響、増税や雇用情勢の悪化懸念等により消費者の節約志向が依然として強く、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下当社グループは、客単価5,000円前後の「天地旬鮮 八吉」等の和食居酒屋業態を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を進めており、同業他社とは一線を画した営業戦略で差別化を図っております。当第2四半期連結累計期間には、新業態である「八吉酒場」八重洲店をオープンし、その他2店舗を閉店した結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、83店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,996,923千円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は394,819千円（同62.1%増）、経常利益は575,917千円（同88.7%増）、四半期純利益は280,326千円（同456.8%増）となりました。

今後も引き続き無理なく規模を拡大しながら、当社の特徴である漁港での鮮魚を直接買付けることのできる権利、すなわち買参権をさらに活かすべく、特に既存店を質的、人的両面において充実したものにするために戦略的な営業、人員の採用を引き続き実施していく所存であります。

（注）当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### I. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、6,672,058千円、負債の部は2,105,032千円、純資産の部は4,567,025千円となりました。この結果、自己資本比率は68.5%となっております。

##### ① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,321,426千円となり、前連結会計年度末と比較して34,200千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が35,100千円増加したことによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表わされる流動比率は、前連結会計年度末と比較して24.1ポイント改善し、161.9%となりました。

##### ② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、4,350,632千円となり、前連結会計年度末と比較して296,640千円減少しております。主な要因は、有形固定資産が減価償却費等により141,301千円、無形固定資産がのれん償却額等により35,760千円減少し、さらに投資その他の資産が投資有価証券の売却等により119,578千円減少したことによるものであります。

##### ③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、1,433,568千円となり、前連結会計年度末と比較して、226,431千円減少しております。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が123,300千円、その他が86,035千円減少したことによるものであります。

##### ④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、671,464千円となり、前連結会計年度末と比較して、186,164千円減少しております。主な要因は、長期借入金の返済により178,634千円減少したことによるものであります。

##### ⑤ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は4,567,025千円となり、前連結会計年度末と比較して150,155千円増加しております。主な要因は、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益280,326千円の計上による増加、剰余金の配当により76,956千円、その他有価証券評価差額金53,214千円の減少によるものであります。

## II. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが351,595千円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが63,730千円の資金増、財務活動によるキャッシュ・フローが385,308千円の資金減となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は、前連結会計年度末と比較して20,092千円増加し、1,535,856千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は351,595千円（前年同四半期比34.8%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益509,976千円、減価償却費181,510千円及びのれん償却額33,782千円の計上に対して、法人税等の支払272,743千円があったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は63,730千円（前年同四半期は290,197千円の資金使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出114,240千円に対して、投資有価証券の売却による収入201,312千円があったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は385,308千円（前年同四半期比9.0%減）となりました。これは主に、借入金の返済301,934千円、配当金の支払76,956千円があったことによるものであります。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

「サマリー情報」に記載した平成25年2月期の連結業績予想は、平成24年4月9日に公表いたしました「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」のとおり、売上高10,523百万円、営業利益907百万円、経常利益1,053百万円並びに当期純利益473百万円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

#### （1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,370	1,642,471
売掛金	208,891	214,156
商品	201,768	211,809
その他	269,196	252,990
流動資産合計	2,287,226	2,321,426
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,690,506	1,567,489
土地	741,130	741,130
その他(純額)	221,984	203,700
有形固定資産合計	2,653,622	2,512,320
無形固定資産		
のれん	73,194	39,412
その他	18,346	16,368
無形固定資産合計	91,541	55,781
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,658,440	1,653,620
その他	268,284	153,526
貸倒引当金	△24,615	△24,615
投資その他の資産合計	1,902,109	1,782,530
固定資産合計	4,647,273	4,350,632
資産合計	6,934,499	6,672,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	182,240	204,247
1年内返済予定の長期借入金	603,868	480,568
未払法人税等	280,906	241,439
資産除去債務	774	1,137
その他	592,211	506,175
流動負債合計	1,660,000	1,433,568
固定負債		
長期借入金	650,096	471,462
資産除去債務	128,100	128,757
その他	79,432	71,244
固定負債合計	857,628	671,464
負債合計	2,517,628	2,105,032
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,161,127	1,161,127
資本剰余金	1,219,935	1,219,935
利益剰余金	2,101,415	2,304,785
自己株式	△118,821	△118,821
株主資本合計	4,363,655	4,567,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,214	—
その他の包括利益累計額合計	53,214	—
純資産合計	4,416,870	4,567,025
負債純資産合計	6,934,499	6,672,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	4,583,476	4,996,923
売上原価	1,219,383	1,401,145
売上総利益	3,364,092	3,595,778
販売費及び一般管理費	3,120,459	3,200,958
営業利益	243,633	394,819
営業外収益		
受取利息	101	63
受取配当金	4,031	5,138
協賛金収入	74,043	64,011
投資有価証券売却益	—	116,100
その他	13,698	13,504
営業外収益合計	91,874	198,817
営業外費用		
支払利息	11,160	7,141
為替差損	18,004	9,925
その他	1,153	652
営業外費用合計	30,318	17,718
経常利益	305,189	575,917
特別損失		
固定資産除却損	—	4,516
減損損失	—	56,830
店舗閉鎖損失	—	4,594
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68,690	—
その他	1,290	—
特別損失合計	69,980	65,940
税金等調整前四半期純利益	235,208	509,976
法人税、住民税及び事業税	152,509	233,820
法人税等調整額	32,351	△4,170
法人税等合計	184,860	229,650
少数株主損益調整前四半期純利益	50,348	280,326
四半期純利益	50,348	280,326



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,348	280,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,018	△53,214
その他の包括利益合計	△8,018	△53,214
四半期包括利益	42,329	227,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,329	227,111
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	235,208	509,976
減価償却費	212,147	181,510
減損損失	—	56,830
のれん償却額	103,433	33,782
受取利息及び受取配当金	△4,132	△5,201
支払利息	11,160	7,141
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△116,100
為替差損益(△は益)	18,004	9,925
固定資産除却損	—	4,516
店舗閉鎖損失	—	4,594
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68,690	—
売上債権の増減額(△は増加)	△31,597	△5,264
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,793	△11,735
仕入債務の増減額(△は減少)	54,155	22,007
未払金の増減額(△は減少)	1,636	△48,936
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,358	△15,512
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,014	4,414
その他の流動負債の増減額(△は減少)	12,724	△8,243
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△8,499	△1,769
その他	10,339	4,222
小計	673,821	626,157
利息及び配当金の受取額	3,865	5,191
利息の支払額	△11,061	△7,009
法人税等の支払額	△127,489	△272,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	539,136	351,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△51,000	△51,000
定期預金の払戻による収入	36,000	36,000
有形固定資産の取得による支出	△271,041	△114,240
無形固定資産の取得による支出	—	△1,108
投資有価証券の売却による収入	—	201,312
敷金及び保証金の差入による支出	△25,640	△11,460
敷金及び保証金の回収による収入	25,902	3,381
短期貸付金の増減額(△は増加)	1,706	△83
その他	△6,125	929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,197	63,730

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△372,134	△301,934
配当金の支払額	△44,786	△76,956
その他	△6,344	△6,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423,264	△385,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,004	△9,925
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192,330	20,092
現金及び現金同等物の期首残高	1,378,289	1,515,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,185,959	1,535,856

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。